

# 教会報ほんじよ

〒130-0011 東京都墨田区石原 4-37-2  
TEL : 03-3623-6753 FAX : 03-5610-1732  
http://www.catholic-honjyo-church.org

## INDEX

- 「この夏に捧げること」  
主任司祭 パウロ 豊島 治
- 「司牧評議会からのお知らせ」
- その他

### 「この夏に捧げること」

主任司祭 パウロ 豊島 治

#### 暑中お見舞い申し上げます

七月の中頃から聖母被昇天の前日までお隣の浅草・上野教会のことをお願いされています。主任の晴佐久神父様が青年たちとキャンプに赴くからです。奄美大島で行われるキャンプはスケールが大きいので、神父様をはじめ準備はとても大変と感じます。

私も神父様の担当する教会の青年であった時、連れて行っていただきました。メンバーが確定すると、無人島で過ごすことを実現するために渡航前から基礎訓練が始まります。はじめは一緒に旅する仲間づくりです。

奄美大島に着いた後も、古仁屋教会にベースキャンプを作り(当時主任司祭でいらした故谷村達郎神父様の協力もありました)、素潜りの練習やここでも仲間同士の助け合いの訓練みたいなものがありました。わたしたちの時は六人でしたが、同時に台風が三つ来島した時でした。波のうねりがひどく岩に打ちつけられ背中が傷だらけになったのでした。

結局台風の影響と備品係がタグボートの空気栓を忘れたことで無

人島には上陸できず、近くの大学の研究島らしいところではしばらく過ごし、帰京したという唯一無人島生活が叶わなかった年度でありましたが、透き通った海の深くに潜った先にある落ち着きのある青色が心に残っています。科学的に分析すれば南方の海は太陽の光が強く、海の透明度も高く加えて浅瀬が多いのと砂が白いことから赤・橙・黄・緑・青・紫・水色で成り立つ太陽光の青の部分が際立つとのこと。神さまがお創りになった世界の成り立ちの素晴らしさに感嘆したので覚えています。

**九月の第一日曜は「被造物を大切に  
する世界祈願日」となっています。**  
被造物を大切にするためには、神さまがお創りになった全てのものから感謝を感じなければ始まりません。  
今年も多くの青年が神様の想いを感ずることができると期待しています。同時に晴佐久神父様のお働きに神さまの力添えを願って祈っています。

#### ■九月 すべてのいのちを守るための月間

日本の司教団は訪日してくださったフランシスコ教皇様が発信されたメッセージにこたえるため、九月一日から十月四日まで「すべての命を守るための月間」と定めています。設立当時の高見司教協議会

長は『全ての命を守るためには、ライフスタイルと日々の行動の変革が重要であることは言うまでもありませんが、特にこの月間に、日本の教会全体で、全てのいのちを守るという意識と自覚を深め、地域社会の人々、特に若者たちと共に、それを具体的な行動に移す努力をしたいと思えます』と呼びかけられ、前述の九月の被造物を大切に「すべてのいのちを守るためのキリスト者の祈り」を唱えるよう呼びかけられています。また加えて、エコロジー教育を行うことと諸団体との連携活動が呼びかけられています。

#### カリタスがキャンペーン活動

この会長の呼びかけに対して本所教会としては、祈りに直ぐに取り掛かれますが、後半の二つは難しいです。ちょうど国際カリタス(カリタスジャパンはその日本を扱う)ではトゥギャザー・ウィというキャンペーンを昨年末から始めています。現在発足したての東京カリタスがこのキャンペーンを展開する担当となっていて、経過をみてゆくことになりました。

